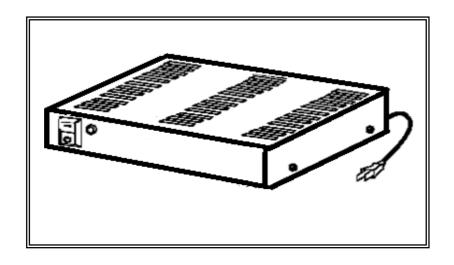
# 店頭防犯装置 複送信ユニット (NBDBW)

# 製品仕様書





#### 1.概要

本製品は別売りの送信アンテナを使うことにより、タグに信号を送りタグのブザー音により 防犯通知を行うものである。

また、別売りの複受信ユニット(NBDJW)及び単受信ユニット(NBDJ)とそれぞれ受信アンテナを接続することにより、タグからの信号を受信して防犯ブザーを鳴らす機能を有する。

また、別売りの防犯カメラや防犯ビデオの接続用端子を有する。

本製品は安定化電源、コントロール装置(送信基板[2枚])、受信ユニット接続用インターフェース 基板、動作表示ランプで構成されている。

本製品には別売りの送信アンテナが2本接続可能である。

# 2.基本仕様

1)電気的仕様

電源電圧 : AC85~264V 電源周波数 : 50/60Hz

消費電力 :103.2W (最大スイッチング定格定格)

65W(信号送信時定格)

2)動作環境

動作温度範囲:0~40℃ 動作湿度範囲:10~85% 保存温度範囲:-10~50℃

3)感知範囲

送信エリア(タグの鳴動エリア)

水平方向: 2.5m(Min) 垂直方向: 2.0m(Min)

上記数値はタグの向きが最良感知方向、周囲に金属物の影響にない場合です。

#### 3.機能仕様

各機能は別売り送信アンテナを取付けた状態で機能を果たす為、ユニット単体では正常に動作しない。送信基板は2枚装備している為、以下の機能はそれぞれに対応する。

1)自動共振調整

電源投入後、マイコン制御により同調コンデンサーの容量を切替え、最適の共振条件に 設定する。

2)マニュアル共振調整

マニュアルスイッチをONにすることにより、アップ・ダウンスイッチにて同調コンデンサーの容量を上げ下げできる。

3) バックアップスイッチ

8連スイッチの内1番をONにすることで、初期電源投入時に自動共振調整をせずに、2~8番のスイッチで設定された同調コンデンサーの値にセットする。

4)出力調整ボリューム

送信電波強度(感知エリア)の大きさを調整する。

5)出力レベルインジケーター

送信電波強度の目安を表示する。(運転中はレベルインジケーター点滅)

6)リセットスイッチ

スイッチを押すことにより、初期電源投入時の状態に戻す。

#### 7)動作表示ランプ

出力送信時(運転時)に点灯する。

自動共振調整中は点滅する。

アンテナに障害が発生した時は点滅する。

#### 8) 同期動作

2台以上のコントロールユニットを並列に作動させる場合に必要な同期をとる事ができる。

#### 9)設定音

電源投入時に発音する。

同調動作終了時に発音する。

アンテナに障害が発生した時は断続発音する。

#### 10) 受信ユニット接続用同期コネクタ

別売りの受信ユニット(単受信, 複受信)を接続する為のコネクタに同期ケーブルで接続することで、タグからの信号を検知する事ができる。

#### 11) 防犯ブザー

別売りの受信ユニット(単受信, 複受信)を接続し、タグからの信号を検知した時に防犯ブザーを5秒間鳴らす。

ただし、受信ユニットが接続されていない場合はその機能は果たさない。

### 12)外部接点出力

別売りの受信ユニット(単受信, 複受信)を接続し、タグからの信号を検知した時に外部接点出力が5秒間作動する。

この出力端子に防犯カメラや防犯ビデオの接続が可能である。

ただし、受信ユニットが接続されていない場合はその機能は果たさない。

※ブザー、防犯装置はグロメットを通して配線可能である。

#### 4.製造番号表示仕様

#### 1)製造番号表示

- 複送信ユニットに下記のシリアルNo.を表示する。
- ・梱包箱には複送信ユニットと同じシリアルNo.を付ける。

#### 2)シリアルNo.表示方法】

シリアルNo.は7桁の英数字で表示する。

シリアルNo.は生産開始より0001から始める。

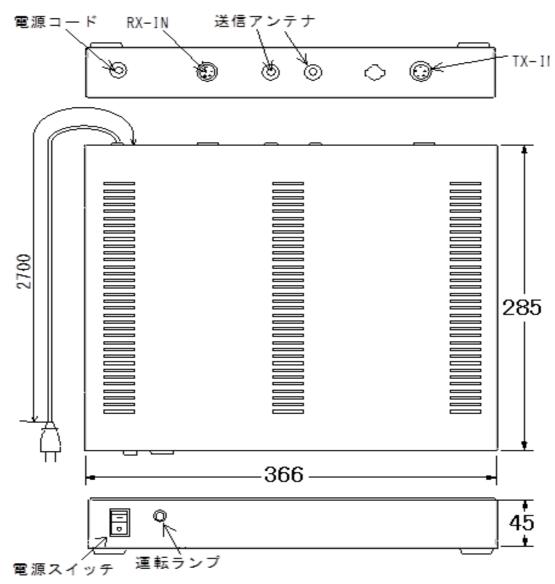
#### 3)シリアルNo.シール



(例)2019年4月の5台目の場合 ⇒ 1940005

# 5.外観仕様

(単位:mm)



# 6.付属品一覧表

①複送信ユニット本体 1台 ②取扱説明書 1冊 ③安全上のご注意 1 册 ④ハーネス(16cm 2ピン) 2本 2本 5保証書 1冊 ⑥同期ケーブル ⑦線束バンド 1本(50cm) 5本(3本予備) ⑧タッピングネジ(M4)⑨平ワッシャー(M4) 4個 4個 ⑩ブザー(配線付) 1本